

アルコール健康障害・依存症対策推進計画（案）に寄せられたご意見一覧

提出団体数：2団体 意見数3件

高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	該当頁
1	<p>本計画について詳細に調査されており、本県での課題が浮き彫りになっていると思います。</p> <p>現場でアルコール依存症の方を支援しているのですが、計画にも記載されているように自助グループの重要性を同様に感じます。しかし、自助グループなどのボランティアでの支援には限界があると思います。</p> <p>また、アルコール依存症の方が社会復帰する際の支援や再飲酒してしまった際の居場所の確保等は既存の障害福祉サービスだけでは担えない現状もあります。</p> <p>引き続き、「重層的支援体制整備事業」を始めとする、障害種別に関わらず、地域で暮らしていける共生社会の実現に向けた取り組みを推進して欲しいと思いました。</p>	<p>自助グループや家族会の活動を継続して支援するとともに、自助グループ等の活動を県民の皆様にご覧いただけるよう県としても積極的に広報していきます。また、支援の輪が更に広がるよう、地域で様々な相談支援に関わる方に対して、各種依存症に関する正しい知識や対処方法等についてご指導いただくための研修を実施します。</p> <p>障害のある方の生活を地域全体で支える相談や緊急時の対応等の機能を備えた「地域生活支援拠点」の整備に向けた市町村の取り組みを支援します。</p> <p>県では、誰一人取り残さない、地域でつながり支え合う「高知型地域共生社会」の実現に向けて、重層的支援体制整備事業の活用をはじめとした多機関協働型の包括的な支援体制づくりと合わせ、人と人とのつながりの再生に向けた支援ネットワークづくりや、地域資源を活用した居場所や社会参加の場の拡大、県民の理解促進と参画意識の醸成といった、「つながり」を実感できる地域づくりに取り組んでまいります。</p>	<p>P31 P28</p>
2	<p>P32（2）進行予防（二次予防）《KPI（評価指標）》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール健康障害及び各種依存症（アルコール・薬物・ギャンブル等・ゲーム）の相談件数</li> <li>・依存症対策全国センターが実施するアルコール健康障害及び各種依存症の研修受講者数</li> </ul> <p>厚生労働省では「ゲーム依存症」をギャンブル等依存症対策基本法における、ギャンブル等の定義には含まないとしているところである。しかしながら、本計画においては、KPIでゲーム依存症を掲載している。</p> <p>本計画におけるギャンブル等依存症の施策については、ゲーム依存症を含まないものと理解している（厚労省によるとゲーム依存症の予防等について科学的知見はないとしているなど、ギャンブル等依存症とは対策が異なる）ため、施策と指標（KPI）との間に齟齬が生じている。</p>	<p>本計画は、「アルコール依存症」、「ギャンブル等依存症」、「薬物依存症」だけでなく「ニコチン依存症」、「ゲーム障害」などの様々な依存症に対応できるよう、共通する対策やそれぞれの依存症の特徴を踏まえた包括的な計画として新たに策定するものです。</p> <p>本計画のKPI（評価指標）においては、「ゲーム障害」を「ギャンブル等依存症」の定義に含み設定するものではなく、その他依存症と並列して、設定しています。</p>	<p>P32</p>
3	<p>P39 ② 普及啓発の推進</p> <p>○ オンラインカジノ等に繋がるおそれのあるオンラインゲームの課金等の問題について、各地区で実施されるPTA研修の場を活用するなどして、家庭への周知と普及啓発に努めます。</p> <p>オンラインゲームの課金がオンラインカジノ等（の利用）に繋がるおそれがあるといった科学的根拠は存在しない。そのため、県民にオンラインゲームの利用がギャンブル等への依存に繋がるとの誤解を与えかねず不適切である。掲載する場合は、科学的なエビデンスと共に掲載するべきである。</p> <p>オンラインカジノユーザーは金銭的利益が目的であり、オンラインゲームユーザーはアイテムの入手や時間短縮、コミュニケーションなど対価を求めるものであり、性質は異なる。仮にネット上での課金を問題にするのであれば、対象をゲームに限定することは合理的ではない。</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>⇒○ インターネットを使ったギャンブル等への依存に繋がるおそれのあるオンラインゲームの過度な課金等の問題について、各地区で実施されるPTA研修の場を活用するなどして、家庭への周知と普及啓発に努めます。</p> <p>（オンラインゲームの課金行為を問題としているのではなく、特に低年齢期からの過度な課金行為によって、欲求を抑えられなくなる状態になることを問題と捉えています。）</p>	<p>P39</p>